

# 令和4年度 神河町 認知症地域支援推進員活動報告

## 認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：2名
- 2 認知症地域支援推進員の役割

認知症ケア推進部会

認知症サポーター養成講座

認知症ケアパスの活用促進

認知症相談センターとしての対応

初期集中支援チーム事業

にじ色カフェ（認知症カフェ）の支援

認知症に対する普及・啓発

報告者氏名： 竹鼻 美結

# 神河町 認知症施策全体図

## 認知症・介護予防教室

- ・ほがらか教室
- ・いきいき倶楽部
- ・こつこつ貯筋教室

## もの忘れ健診

- ・地区巡回健康教室
  - ・認知症・介護予防教室
- 認知症タッチパネルで脳の健康度をチェック

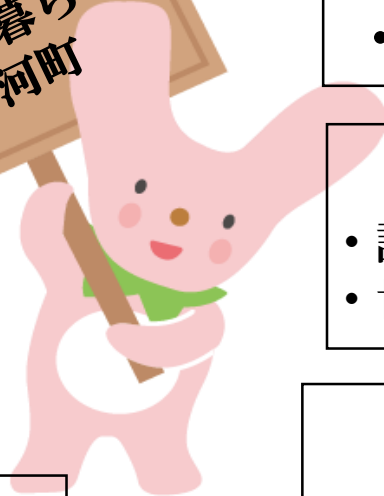
## にじ色カフェ（認知症カフェ）

ボランティアが月1回開催  
※令和4年度は開催中止

## 認知症サポーター養成講座

（小中学校・地域）

認知症になっても  
安心して暮らせる  
神河町



## 認知症ケアネット

『あんしんナビ』2023年一部改正

## 高齢者等安心見守り・SOSネットワーク事業

- ・福祉給食サービス
- ・傾聴ボランティアの訪問
- ・緊急通報システム

## 認知症対策WG会議

- ・認知症当事者の声を聴く会
- ・世界アルツハイマーデーの啓発

## 介護者の会

- ・たまゆらの会
  - ・地域サロン「らくや」
- 社会福祉協議会・介護事業所が定期的に開催

## 認知症初期集中支援チーム

（2ヶ月に1回実施）

# 標題 神河町における認知症初期集中支援チームの効果

## 令和4年度 認知症初期集中支援会議の実績（チーム員会3回/年）

	性別	年齢	世帯	認知症の診断	結果
1	女性	80歳代	息子と2人暮らし	あり	家族からの支援があまり受けられないケースであったが、介護保険を申請し、介護サービス導入（グループホーム入所）に繋がった。
2	女性	70歳代	1人暮らし	あり	初回の医療機関への受診時に認知症専門看護師が立ち会い、家族への説明と担当医への事前の情報提供によりスムーズに受診でき、その後、介護サービス導入に繋がった。
3	男性	80歳代	1人暮らし	なし	認知症専門看護師から主治医に情報提供し、主治医から神経科に受診するよう促した結果、神経科受診に繋がった。

## 【認知症初期集中支援事業の効果と課題】

### 《効果》

- 専門職の意見を聞くことができ、対象者にとってよりよい支援を導き出すことができる。
- 今後の認知症の進行を見越した支援の検討も行うため、対象者だけではなく、担当のケアマネージャーの支援にも繋がっている。

### 《課題》

- 認知症初期（早期）の段階では、本人に自覚はなく、本人・家族が介入の必要性を感じていないため、対象者の選択が難しい。

- 最後に・・・

まだまだ認知症に対する理解が本人・家族に浸透していないことで、必要な支援に繋がるまでに時間を要します。本人・家族が認知症に對して正しく理解し、必要な支援に繋がり、認知症当事者が住み慣れた地域で安心して生活ができるように、これからも支援していきます。